

回 答 書

別所線は、地域の重要な交通手段として生活に密着した公共交通機関であり、また観光を軸とした産業面や地球規模での対応が必要な環境面、更には文化的・教育的な側面においても果たす役割は大きく、別所線を存続させていくことは非常に重要であると考えております。

市では、平成 16 年 12 月に安全対策を核とした公的支援を決定以来、平成 16 年から 18 年度までの 3 年間の運行協定を上田交通株式会社と締結して、国及び県と協調を図りながら安全対策のための設備投資を中心とした支援を実施してまいりました。その後も引き続き、平成 19 年度から平成 21 年度までの 3 年間で協定期間とした運行協定を上田電鉄株式会社と締結し、支援を継続しております。

この間の市の安全対策のための補助総額は、今年度の予定分を含め、5 億 4,200 万円余となり、この 6 年間にわたる支援により、レールの重量化、枕木のコンクリート化、踏切設備の更新、車両の更新などが順次行われ、安全性の改善が図られつつあり、従前に比べ踏切事故が減少するなど投資の効果が現れております。

また直接的な支援を行う一方で、別所線再生支援協議会の参画団体や別所線電車存続期成同盟会の皆様を中心となり、「乗って残そう」をキーワードとした様々な利用促進策が実施されております。これらの取り組みや多くの皆様の御協力もあり、輸送人員は平成 18 年度から 3 年連続で増加しておりますが、残念ながら平成 21 年度は減少傾向となっております。

上田電鉄と、別所線の支援を取り決めた、現在の運行協定につきましては、本年度が 3 年間の最終年度となります。このため上田電鉄から、引き続き別所線に対する支援の要請がありました。内容としましては、従来から計画的に進めているレールの重量化や枕木のコンクリート化、踏切設備の更新、碎石の交換などに加え、大正 13 年に竣工した千曲川橋梁の補修や塗装などに対する支援要請が盛り込まれております。

市では、塩田地域協議会様をはじめとする地域の皆さんの御意見を尊重し、当初の公的支援決定の経緯を十分踏まえ、安全で継続的な運行維持を念頭に、市としての今後の対応について、現在庁内で検討を進めております。

いずれにしましても、別所線を継続的に運行していくためには、市民の皆様自らの「乗って残す」という意識が必要不可欠となります。地域の皆様におかれましても、積極的な御利用を改めてお願い致します。